

# 一般教育訓練明示書（様式例）

講座の名称	ふれあい介護福祉士実務者研修講座 通信講座（無資格者）													
実施方法	① 通学（昼間・夜間・土日） <input checked="" type="radio"/> ② 通信 スクーリング（回数 19 回）													
指定講座番号	3	4	1	7	9	—	1	6	2	0	0	1	—	3
講座の創設年月日	一般教育訓練給付金対象講座の指定期間				過去一年の講座実績	入講者数(累積) (18人)				修了者数 (18人)				
	H28年10月1日				H31年9月30日まで									
訓練期間	6ヶ月					総訓練時間					460時間			
1. 教育訓練目標														
①取得目標とする資格の名称、目標レベル						介護福祉士実務者研修								
②①に係る資格・試験等の実施機関名称						厚生労働省								
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等						介護事業に従事することを希望する者、従事することが確定している者、 又はすでに従事しており、介護福祉士の国家試験を受験する								
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況						介護福祉士の国家試験を受験するうえで、必須の研修/入所・在宅福祉事業所で活用・病院での介護業務など								
2. 教育訓練の内容														
教科（カリキュラム）						時間		使用教材名						
人間の尊厳と自立(5時間)・社会の理解Ⅰ(5時間)・社会の理解Ⅱ(30時間)						40時間		人間と社会 第1巻中央法規						
介護の基本Ⅰ(10時間)・介護の基本Ⅱ(20時間)						30時間		介護Ⅰ 第2巻中央法規						
コミュニケーション技術(20時間)・生活支援技術Ⅰ(20時間)・生活支援技術Ⅱ(30時間)						70時間		介護Ⅰ 第2巻中央法規						
介護過程Ⅰ(20時間)・介護過程Ⅱ(25時間)						45時間		介護Ⅱ 第3巻中央法規						
介護過程Ⅲ(スクーリング)						45時間		介護Ⅱ 第3巻中央法規						
老化の発達と理解Ⅰ(10時間)・老化の発達と理解Ⅱ(20時間)						30時間		こころとからだのしくみ第4巻中央法規						
認知症の理解Ⅰ(10時間)・認知症の理解Ⅱ(20時間)						30時間		こころとからだのしくみ第4巻中央法規						
障害の理解Ⅰ(10時間)・障害の理解Ⅱ(20時間)						30時間		こころとからだのしくみ第4巻中央法規						
こころとからだのしくみⅠ(20時間)・こころとからだのしくみⅡ(60時間)						80時間		こころとからだのしくみ第4巻中央法規						
医療的ケア(+演習10時間)						60時間		医療的ケア 第5巻中央法規						
3. 受講者となるための要件（この講座を受講するために必要とされている条件など）														
①受講するに当たって必要な実務経験等						特になし								
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準						高等学校卒業者と同等以上の能力を有することが望ましい								
③その他														

# 一般教育訓練明示書(様式例)

## 4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

### (1) 資格取得状況

① 昨年度内の受講修了者数	18	人			
② ①のうち目標資格の受験者数	7	人	受験率(②/①)	38.8	%
③ ②のうち合格者数		人	合格率(③/②)		%
④ 上記②・③の回答者数		人			

### (2) 受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数		18	人		
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	17	人	②A: 就業者計	18人
	2 非正社員、派遣社員	1	人		
	3 その他の就業(自営業等)	0	人		
	4 学生	0	人	②B: 非就業者計	0人
	5 求職中	0	人		
	6 その他(主婦、無職等)	0	人		
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	8	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)	18人
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	2	人		
	3 社内外の評価が高まる	2	人		
	4 円滑な転職に役立つ	2	人		
	5 趣味・教養に役立つ	2	人		
	6 その他の効果	2	人		
	7 特に効果はない	0	人		
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる	0	人	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	0人
	2 希望の職種・業界で就職できる	0	人		
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる	0	人		
	4 趣味・教養に役立つ	0	人		
	5 その他の効果	0	人		
	6 特に効果はない	0	人		
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	0	人	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	0人
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	0	人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	0	人		
	4 就職していない	0	人		
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足	8	人	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	18人
	2 おおむね満足	8	人		
	3 どちらとも言えない	2	人		
	4 やや不満	0	人		
	5 大いに不満	0	人		

## 5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	終了者へ受験・合格状況をアンケート用紙と電話にて追跡調査をおこな
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数	府中ふれあいホームうかい内デイサービスフロアー/10回・毎週土曜日/修了期限を1年間とする。

## 6. 修了を認定するための基準並びに修了を認定する時期及びその方法

- ①通信課題については講師が添削し、理解度を確認。②演習については、出席と理解度・授業態度を考慮。  
 ③医療的ケア演習については出席態度共に、演習においてすべての評価が「A」であること。  
 ④修了試験は7割を合格ラインとする。①～④の確認・評価を基に過程編成責任者が総合的に判断する。

# 一般教育訓練明示書（様式例）

7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法			
(1)受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	通信課題・スクーリング時同様に各科目ごとの到達目標を基に不足分について助言・補講・指導を個別に別途行うことで再課題・試験を実施する。		
(2)受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例:資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	スクーリング時の授業において、国家試験対策の助言・指導を行う。		
8. その他の事項			
指定教育訓練実施者名及び代表者名	有限会社 アドバンス (代表者名: 藤岡輝行)		
住所及び連絡先	広島県府中市元町271番地1		TEL 0847-40-0006
施設名称及び施設長名	ふれあい介護福祉士実務者研修講座 通信講座		(施設長: 奥野 誠)
住所及び連絡先	広島県府中市鶉飼町681番地1		TEL 0847-54-2166
給付制度担当部署・者	府中ふれあいホームうかい		(担当者: 中村 恵美)
連絡先	TEL 0847-54-2166		
一般教育訓練経費	1. 一般教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②)		135,000 円
支払い方法	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)		0 円
	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	135,000 円 (うち、必須教材費 13,824 円)	
① 一括払			
② 分割払			
③ 両方可能			
	2. 一般教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④)		0円
	① 副読本代(税込額)		0 円
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額)		0 円
	③ 施設維持費(税込額)		0 円
	④ その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)		0 円
	3. 総額 (1+2) (税込額)		135 円

[ 特記事項 ]

--